

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和5年度	事業年度	令和4年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	消防団施設、機械機具、水利施設等の設置管理事務		整理番号	1303-004		
第2次 総合計画体系	政策目標	4 安全・安心なまち	担当部署	危機管理課		
	分野別施策	3 消防・防災体制の充実	所属長	三好 芳和		
	主な施策	1 消防団の充実促進	電話番号	82-6315		
根拠法令等	東みよし町消防団に関する条例 東みよし町消防団に関する条例施行規則					
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金等	
事業継続年数	事業開始年度	不明	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input type="checkbox"/> 6年～10年	<input type="checkbox"/> 11年～20年	<input checked="" type="checkbox"/> 21年以上

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 <small>具体的に誰(なに)を</small>	東みよし町消防団員	対象者	360人
事務事業の目的 <small>どのような状態にしたいのか</small>	消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図り、もって住民の安全の確保に資することを目的とする。		
事務事業の内容 <small>どのような方法・手段で 事務事業を行ったか</small>	本団のほか、第1分団から第17分団までの各分団に活動拠点となる詰所があり、町有分団詰所が26ヶ所、地元管理分が8ヶ所ある。また、ポンプ車6台、小型動力ポンプ積載車24台や消防資機材等を所有している。各分団所轄区域内には、消防水利となる防火水槽、消火栓を設置している。これらの消防施設、資機材等について、各消防分団で維持管理を行っている。 詰所や消防水利の新設、修繕、分団車両の車検整備、修繕などは軽微なものを除き、町で行っている。		
事務事業の成果 <small>結果・実績はどうか</small>	地域防災力の充実強化は、住民、自主防災組織、消防団、水防団、地方公共団体、国等の多様な主体が適切に役割分担をしながら相互に連携協力して取り組むことが重要であるとの基本的認識の下に、地域に密着し、災害が発生した場合に地域で即時に対応することができる消防機関である消防団がその中核的な役割を果たしている。また防火パレードなど啓発活動を通じ、住民の防災に関する意識啓発に努めている。		
特記事項	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律(平成26年4月1日施行)		

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	令和3年度		令和4年度(評価対象年度)		令和5年度(見込)	
事業費【(a)～(e)の合計】	7,637,896	うち繰越分↓ 0	15,934,549	うち繰越分↓ 0	13,203,000	うち繰越分↓ 0
財源内訳	国庫支出金(a)	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓
	県支出金(b)	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓
	地方債(c)	うち繰越分↓	4,600,000	うち繰越分↓	3,970,000	うち繰越分↓
	その他(d)	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓
	うち受益者負担	うち繰越分↓		うち繰越分↓		うち繰越分↓
	一般財源(e)	7,637,896	うち繰越分↓	11,334,549	うち繰越分↓	9,233,000
特定財源の名称・金額	緊急・防災減災事業債 4,600,000円					
令和4年度 経費の内訳 <small>事務事業に係る経費の詳細</small>	予算科目(歳出区分) 会計 1 一般会計 款 8 消防費 項 1 消防費 目 1 非常備消防費 需用費 2,804,898円 役務費 486,280円 委託料 273,658円 使用料及び賃借料 55,800円 備品購入費 5,314,100円 負担金、補助金及び交付金 56,000円 公課費 469,400円 工事請負費 6,009,300円 資材費 465,113円					
備考						